

スタインバーグからリブランドした4モデルを発売
ヤマハ オーディオ/MIDI インターフェース『URX-C シリーズ』
オーディオインターフェース『UR-MK3 シリーズ』

ヤマハ株式会社は、Steinberg Media Technologies GmbH（ドイツ ハンブルク、以下、スタインバーグ）から引き継いだハードウェア製品の企画・開発の一環として、オーディオ/MIDI インターフェース『URX-C シリーズ』とオーディオインターフェース『UR-MK3 シリーズ』を本日より発売します。



ヤマハ オーディオインターフェース『UR-MK3 シリーズ』（左）、
 ヤマハ オーディオ/MIDI インターフェース『URX-C シリーズ』（右）

『URX-C シリーズ』は、安定動作のもと、優れた音質で録音・再生可能なハイグレードモデルです。6入力／4出力の『URX44C』と2入力／2出力の『URX22C』の2モデルをラインアップしました。最大32-bit 整数/192kHzのオーディオ分解能とD-PREマイクプリアンプを搭載し、明瞭で奥行きのあるサウンドで録音・再生ができるほか、DSPミキサーおよびDSPエフェクトにより、低遅延のモニタリング環境と高品質なエフェクト処理を提供します。

一方、『UR-MK3 シリーズ』は、軽量・コンパクトで持ち運びしやすく、場所を選ばず音楽制作やレコーディングが可能なオーディオインターフェースのエントリーモデルです。いずれも最大24-bit/192kHz対応の録音・再生に対応し、高性能マイクプリアンプ搭載の入力2系統を備えた『UR22MK3』と1系統を備えた『UR12MK3』の各モデルに、ブラック・ホワイトの2色をラインアップしました。

両シリーズともMac/Windows/iPad/iPhoneのマルチプラットフォームに対応し、iOS端末との接続時はCC（クラス・コンプライアント）モードで細かい設定をすることなくシンプルに使えます。また、音楽制作ソフトウェア「Cubase AI」を付属しているため、買ってすぐに作曲・録音・編集などを楽しめます。

品名	品番	色	希望小売価格（税込）	発売日
オーディオ/MIDI インターフェース	URX44C	ブラック	49,500円	10月9日
	URX22C	ブラック	28,600円	
オーディオ インターフェース	UR22MK3	ブラック／ホワイト	19,800円	
	UR12MK3	ブラック／ホワイト	14,300円	

■ 一般の方のお問い合わせ先：

プロオーディオ・インフォメーションセンター https://jp.yamaha.com/support/contacts/av_pa/（Webフォーム）

< 『URX-C シリーズ』 主な特長 >

1. 最大 32-bit 整数/192kHz と独自マイクプリアンプがクリアで奥行きのあるサウンドを実現

最大 32-bit 整数/192kHz のオーディオ分解能と独自の D-PRE マイクプリアンプを搭載し、クリアで奥行きのあるサウンドを実現します。

2. 直感的でシームレスなワークフローを実現する操作性

DSP ミキサーおよび DSP エフェクトを搭載し、低遅延のモニタリング環境と高品質なエフェクト処理を提供します。また、専用コントロールアプリ「dspMixFx for URX-C」を使い、チャンネルゲインとパンニングの調整や各種エフェクトの適用を 1 つの直感的な画面でスムーズに行えます。

3. ハイレベルな配信機能を搭載

PC 内の複数のオーディオアプリケーションのサウンドを、同時に『URX-C シリーズ』上でコントロールできるマルチオーディオストリームドライバーを搭載しています。また、モニタリング用とは別に、配信先（リスナー）に届けるバランスを調整するストリーミングミックスを搭載し、よりハイレベルな配信が可能です。

< 『UR-MK3 シリーズ』 主な特長 >

1. 最大 24-bit/192kHz 対応と高性能マイクプリアンプを搭載

最大 24-bit/192kHz での録音・再生に対応し、演奏を正確に捉え音のディテールまで再現します。

2. レイテンシーフリーのモニタリング環境

レイテンシーフリーのダイレクトモニタリングにより、レコーディングの際にリアルタイムで入力信号を再生できる快適なモニタリング環境を構築します。『UR22MK3』は MONO/STEREO の切り替えも可能です。

3. 配信に便利な「ループバック機能」

楽器の演奏音や PC で再生しているサウンドなどを本機内でミックスし、PC を通じてインターネット上に配信することができる「ループバック機能」を搭載しています。ループバックの ON/OFF は、ハードウェア上のモニタースイッチでコントロール可能です。また、各インプットにはミュートスイッチが搭載されており、配信中に席を離れる際、マイクだけをミュートするといったこともできます。

4. 持ち運びに適した筐体

奥行き 10.2cm、質量 450g と軽量・コンパクトな筐体のため、自宅で据え置くだけでなく、外出先へ持ち出してインターフェースとして使うこともできます。

< 『URX-C シリーズ』『UR-MK3 シリーズ』 共通の主な特長 >

DAW ソフト「Cubase AI」「Steinberg Plus」ライセンスカードを付属*

デジタル・オーディオ・ワークステーション・ソフトウェア「Cubase AI（ダウンロード版）」を付属し、購入したその日から音楽制作・レコーディング環境を構築することができます。また、スタインバーグが誇る VST インストゥルメントやループセットの一部を無償でご使用いただける「Steinberg Plus」ライセンスカード*を同梱しています。

※詳しくはスタインバーグサイトをご確認ください。 <https://www.steinberg.net/ja/audio-interfaces/plus/>

各製品の詳細は下記製品ページをご覧ください。

※『URX-C シリーズ』はスタインバーグ「UR-C シリーズ」と、『UR-MK3 シリーズ』はスタインバーグ「IXO シリーズ」と同仕様です。

『URX-C シリーズ』

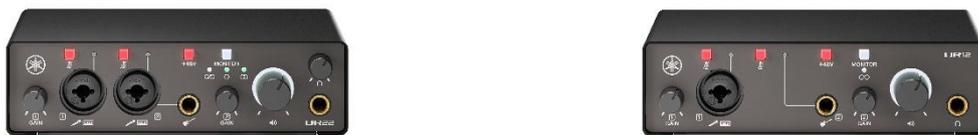
https://jp.yamaha.com/products/music_production/interfaces/urx-c/index.html

『UR-MK3 シリーズ』

https://jp.yamaha.com/products/music_production/interfaces/ur-mk3/index.html



オーディオ/MIDI インターフェース
『URX44C』(左)、『URX22C』(右)



オーディオインターフェース
『UR22MK3』ブラック(左)、『UR12MK3』ブラック(右)

*文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

*掲載情報はすべて発表日現在のものです。発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当:佐藤 圭 TEL. 050-3148-8660
ウェブサイト https://www.yamaha.com/ja/news_release/

■ 一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン プロオーディオ・インフォメーションセンター
https://jp.yamaha.com/support/contacts/av_pa/ (Web フォームよりお問い合わせが可能です)
